

米国3倍4資産リスク分散ファンド (毎月決算型) (愛称：アメリカまるごとレバレッジ (毎月決算型))

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／資産複合 | |
| 信託期間 | 2019年10月15日～2029年9月11日 | |
| 運用方針 | 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | 米国3倍4資産リスク分散マザーファンドの受益証券 |
| | 米国3倍4資産リスク分散マザーファンド | 次の有価証券および先物取引 イ. 米国株式を対象とした株価指数先物取引 ロ. 米国国債を対象とした先物取引 ハ. 米国の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券（以下「リート」といいます。）の指数を対象指数としたETF（上場投資信託証券） ニ. 米国リートを対象としたリート指数先物取引 ホ. 金を対象とした先物取引 ヘ. 米国国債 |
| 組入制限 | ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率 | 無制限 |
| | マザーファンドの株式組入上限比率 | |
| 分配方針 | <p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ. およびロ. に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。</p> <p>イ. 計算期末の前営業日の基準価額（1万口当たり。既払分配金を加算しません。以下同じ。）が11,000円未満の場合、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。</p> <p>ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が11,000円以上の場合、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当たり）を分配することをめざします。</p> <p>(a) 11,000円以上12,000円未満の場合 ・・・100円</p> <p>(b) 12,000円以上の場合・・・150円</p> <p>なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。</p> | |

運用報告書(全体版)

| | | |
|--------------------------------|------|--------------|
| 第72期 | (決算日 | 2025年10月14日) |
| 第73期 | (決算日 | 2025年11月11日) |
| 第74期 | (決算日 | 2025年12月11日) |
| 第75期 | (決算日 | 2026年1月13日) |
| 第76期 | (決算日 | 2026年2月12日) |
| 第77期 | (決算日 | 2026年3月11日) |
| (作成対象期間 2025年9月12日～2026年3月11日) | | |

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式、リートおよび債券ならびに金を投資対象とし、先物取引等を活用した分散投資を行ない、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 株式先物 比率 | 公社債 組入比率 | 債券先物 比率 | 投資信託 受益証券 組入比率 | 商品先物 比率 | 純資産 総額 |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|----------------------|------------|-----------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期中 騰落率 | | | | | | |
| 48期末(2023年10月11日) | 円 8,181 | 円 0 | % △ 9.7 | % 52.3 | % 18.5 | % 140.1 | % 39.0 | % 66.7 | 百万円 57 |
| 49期末(2023年11月13日) | 8,655 | 0 | 5.8 | 50.9 | 17.8 | 134.4 | 39.0 | 56.0 | 62 |
| 50期末(2023年12月11日) | 9,325 | 0 | 7.7 | 47.9 | 15.6 | 140.2 | 39.8 | 61.5 | 65 |
| 51期末(2024年1月11日) | 9,938 | 0 | 6.6 | 58.4 | 15.1 | 147.7 | 43.0 | 66.5 | 67 |
| 52期末(2024年2月13日) | 10,040 | 80 | 1.8 | 57.1 | 17.0 | 141.5 | 43.3 | 66.9 | 56 |
| 53期末(2024年3月11日) | 10,591 | 80 | 6.3 | 51.2 | 15.8 | 132.4 | 40.2 | 60.8 | 58 |
| 54期末(2024年4月11日) | 10,605 | 100 | 1.1 | 54.5 | 16.7 | 134.4 | 42.0 | 68.7 | 57 |
| 55期末(2024年5月13日) | 10,917 | 80 | 3.7 | 55.5 | 17.0 | 136.6 | 42.8 | 61.3 | 58 |
| 56期末(2024年6月11日) | 10,996 | 100 | 1.6 | 51.2 | 12.6 | 131.3 | 42.5 | 57.4 | 70 |
| 57期末(2024年7月11日) | 11,959 | 100 | 9.7 | 55.0 | 11.0 | 131.7 | 41.7 | 59.6 | 92 |
| 58期末(2024年8月13日) | 11,533 | 100 | △ 2.7 | 53.0 | 10.5 | 152.2 | 42.5 | 60.7 | 89 |
| 59期末(2024年9月11日) | 11,945 | 100 | 4.4 | 52.4 | 7.7 | 124.3 | 44.6 | 61.2 | 101 |
| 60期末(2024年10月11日) | 12,127 | 150 | 2.8 | 58.5 | 10.6 | 130.0 | 45.5 | 65.3 | 137 |
| 61期末(2024年11月11日) | 12,547 | 150 | 4.7 | 57.5 | 8.2 | 131.7 | 44.3 | 61.4 | 192 |
| 62期末(2024年12月11日) | 12,338 | 150 | △ 0.5 | 55.3 | 8.7 | 134.4 | 42.4 | 60.1 | 242 |
| 63期末(2025年1月14日) | 11,123 | 100 | △ 9.0 | 59.6 | 11.8 | 148.0 | 45.1 | 66.0 | 183 |
| 64期末(2025年2月12日) | 12,190 | 150 | 10.9 | 53.9 | 11.5 | 134.2 | 42.8 | 61.2 | 198 |
| 65期末(2025年3月11日) | 11,269 | 100 | △ 6.7 | 53.5 | 11.2 | 136.9 | 45.3 | 61.9 | 184 |
| 66期末(2025年4月11日) | 10,559 | 80 | △ 5.6 | 53.6 | 11.4 | 136.5 | 43.0 | 68.6 | 179 |
| 67期末(2025年5月12日) | 11,857 | 100 | 13.2 | 53.0 | 7.2 | 130.4 | 45.6 | 58.9 | 229 |
| 68期末(2025年6月11日) | 12,002 | 150 | 2.5 | 50.0 | 7.7 | 133.7 | 44.8 | 55.3 | 232 |
| 69期末(2025年7月11日) | 12,294 | 150 | 3.7 | 53.0 | 5.5 | 138.0 | 42.6 | 55.5 | 293 |
| 70期末(2025年8月12日) | 12,450 | 150 | 2.5 | 50.2 | 8.2 | 141.6 | 44.8 | 56.6 | 365 |
| 71期末(2025年9月11日) | 13,417 | 150 | 9.0 | 48.3 | 10.3 | 134.1 | 43.2 | 56.0 | 393 |
| 72期末(2025年10月14日) | 14,567 | 150 | 9.7 | 50.3 | 11.4 | 140.8 | 43.0 | 57.4 | 505 |
| 73期末(2025年11月11日) | 14,751 | 150 | 2.3 | 53.4 | 11.4 | 144.2 | 44.9 | 55.4 | 543 |
| 74期末(2025年12月11日) | 14,708 | 150 | 0.7 | 54.5 | 10.7 | 145.3 | 46.8 | 54.2 | 602 |
| 75期末(2026年1月13日) | 15,594 | 150 | 7.0 | 49.9 | 9.4 | 138.2 | 44.3 | 51.8 | 707 |
| 76期末(2026年2月12日) | 15,996 | 150 | 3.5 | 53.2 | 8.2 | 150.7 | 46.8 | 46.5 | 816 |
| 77期末(2026年3月11日) | 16,419 | 150 | 3.6 | 54.7 | 8.1 | 151.2 | 45.8 | 45.5 | 852 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 先物比率は買建比率－売建比率です。

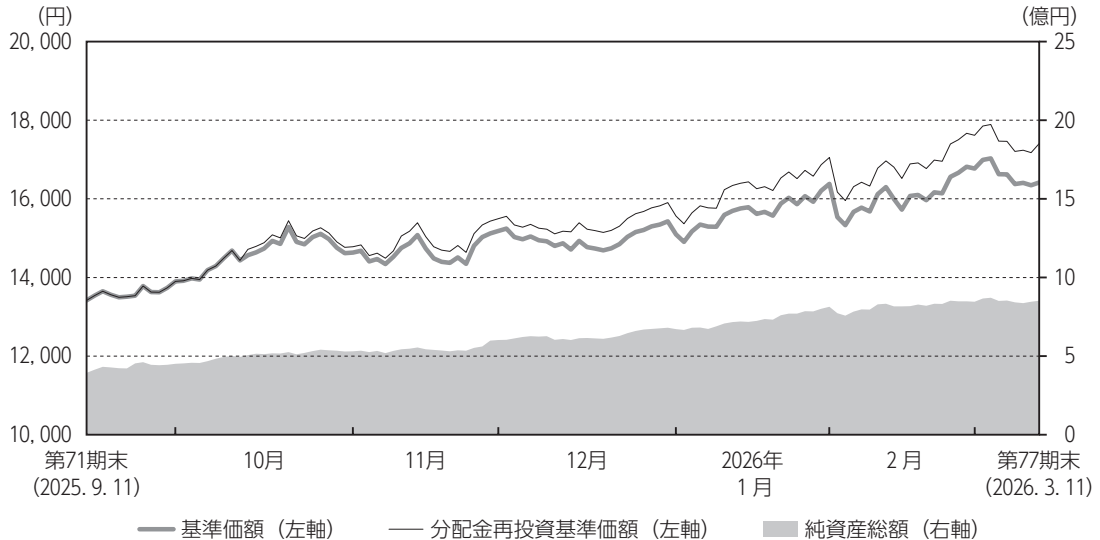
(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第72期首：13,417円

第77期末：16,419円（既払分配金900円）

騰落率：29.7%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主に金価格の上昇を受けて、当作成期の基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

米国3倍4資産リスク分散ファンド（毎月決算型）

| | 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 株 式 先 物 比 率 | 公 社 債 組 入 比 率 | 債 券 先 物 比 率 | 投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率 | 商 品 先 物 比 率 |
|------|------------------|---------|-------|----------------|------------------|----------------|-------------------------------|----------------|
| | | 円 | 騰 落 率 | | | | | |
| 第72期 | (期首) 2025年9月11日 | 13,417 | — | 48.3 | 10.3 | 134.1 | 43.2 | 56.0 |
| | 9月末 | 13,900 | 3.6 | 48.8 | 9.5 | 132.0 | 41.3 | 58.9 |
| | (期末) 2025年10月14日 | 14,717 | 9.7 | 50.3 | 11.4 | 140.8 | 43.0 | 57.4 |
| 第73期 | (期首) 2025年10月14日 | 14,567 | — | 50.3 | 11.4 | 140.8 | 43.0 | 57.4 |
| | 10月末 | 14,631 | 0.4 | 53.7 | 11.0 | 149.7 | 46.2 | 55.2 |
| | (期末) 2025年11月11日 | 14,901 | 2.3 | 53.4 | 11.4 | 144.2 | 44.9 | 55.4 |
| 第74期 | (期首) 2025年11月11日 | 14,751 | — | 53.4 | 11.4 | 144.2 | 44.9 | 55.4 |
| | 11月末 | 15,183 | 2.9 | 52.2 | 10.7 | 143.5 | 46.3 | 52.5 |
| | (期末) 2025年12月11日 | 14,858 | 0.7 | 54.5 | 10.7 | 145.3 | 46.8 | 54.2 |
| 第75期 | (期首) 2025年12月11日 | 14,708 | — | 54.5 | 10.7 | 145.3 | 46.8 | 54.2 |
| | 12月末 | 15,092 | 2.6 | 50.2 | 9.8 | 143.0 | 46.2 | 49.7 |
| | (期末) 2026年1月13日 | 15,744 | 7.0 | 49.9 | 9.4 | 138.2 | 44.3 | 51.8 |
| 第76期 | (期首) 2026年1月13日 | 15,594 | — | 49.9 | 9.4 | 138.2 | 44.3 | 51.8 |
| | 1月末 | 16,380 | 5.0 | 54.5 | 8.2 | 150.1 | 45.9 | 49.2 |
| | (期末) 2026年2月12日 | 16,146 | 3.5 | 53.2 | 8.2 | 150.7 | 46.8 | 46.5 |
| 第77期 | (期首) 2026年2月12日 | 15,996 | — | 53.2 | 8.2 | 150.7 | 46.8 | 46.5 |
| | 2月末 | 16,768 | 4.8 | 53.1 | 8.0 | 150.6 | 46.1 | 44.5 |
| | (期末) 2026年3月11日 | 16,569 | 3.6 | 54.7 | 8.1 | 151.2 | 45.8 | 45.5 |

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2025. 9. 12 ~ 2026. 3. 11）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、2025年9月中旬のF R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げ決定などを背景に、上昇しました。さらに10月下旬にかけては、成長期待が高まったA I（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、株価は史上最高値を更新しました。11月には、政府機関の一部閉鎖の影響が嫌気されて下落しましたが、同月下旬には利下げ観測が再び高まったことを好感し、反発しました。12月以降も、F R Bによる利下げの決定や流動性供給の開始、半導体関連企業の好業績などが好感され、株価は上昇しました。2026年1月以降は、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「A I 脅威論」の台頭を受け、情報サービスやソフトウェア関連の企業が急落しました。その後2月下旬にかけては、株価は史上最高値近辺でおおむね横ばいで推移しました。当作成期末にかけては、中東情勢の緊迫化による投資家心理の悪化を受け、上げ幅を縮小しました。

■米国債券市況

米国金利は上昇（債券価格は下落）しました。

米国債券市場では、当作成期首より金利は上昇したものの、雇用統計の結果などを受けて労働市場の悪化懸念が強まり、利下げ期待が高まったことなどから、2025年10月中旬にかけて金利は低下（債券価格は上昇）しました。しかしその後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が次回利下げについて慎重な姿勢を明確に示したことなどから、11月中旬にかけて金利は上昇しました。11月下旬には、F R B高官の発言などを受けて年内の利下げ観測が高まり、金利は再び低下に転じました。12月は、F R Bが利下げを決定し、さらに2026年の追加利下げを示唆したことなどから、短期年限の金利は低下した一方で、米国経済の底堅さを示す指標などを受け、中期から超長期年限の金利は上昇しました。2026年1月は、グリーンランドの領有問題をめぐる欧米の対立や、F R Bの独立性への懸念などから米ドル離れの思惑が再燃したことに加え、米国で底堅い経済指標が示され、当面の利下げ観測が後退したことなどから、金利は上昇しました。2月末にかけては、消費者物価指数が市場予想を下回ったことなどから年央以降の利下げ観測が高まったことや、「A I（人工知能）脅威論」により将来的な景気不安が意識されたことなどから、金利は低下しました。当作成期末にかけては、原油高によるインフレ懸念から金利は上昇しました。

■米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。

米国リート市況は、当作成期首より2025年12月末にかけて、米国長期金利の動向などに左右される中、おおむね横ばい圏で推移しました。その後、2026年2月にかけては、リートが資本集約的な事業構造を有し、相対的にAI（人工知能）による代替リスクが低いことなどが評価され、堅調に推移しました。当作成期末にかけては、中東情勢の緊迫化による投資家心理の悪化を受け、上げ幅を縮小しました。

■金市況

金価格は大幅に上昇しました。

金市況は、主に米国の利下げ期待が相場を押し上げ、地政学リスクの高まりなどから安全資産としての需要も膨らみ、上昇しました。2025年9月から12月にかけては、米国の利下げ観測が継続し、FRB（米国連邦準備制度理事会）による2度の利下げ決定後も、低調な米国経済指標を手掛かりとする追加利下げ期待が上昇圧力となりました。2026年1月に入ると、ベネズエラやイランに対する米国の軍事的圧力への警戒感や、グリーンランドをめぐる米欧対立などで地政学リスクが終始意識され、金の逃避買いに拍車がかかりました。しかし、1月下旬にトランプ米国大統領が、次期FRB議長にタカ派と目されるウォーシュ元FRB理事を指名したことが引き金となり、史上最高値の5,350米ドル（トロイオンス当たり）近辺から2営業日で4,600米ドル台半ばまで急落しました。その後は、米ドルの反落や米国の関税措置をめぐる不透明感などを背景に、再び上昇基調となりました。2月末に米国・イスラエルがイランを攻撃した当初は安全資産として買われ上昇しましたが、当作成期末にかけては、米ドル高の進行やインフレ懸念の高まりから次第に上値が重い展開となりました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、おおむねレンジ内での推移が続きましたが、2025年10月から11月半ばにかけては、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が高まり、円安が進行しました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受け、円高が進行しました。当作成期末にかけては、米国財務長官による強い米ドル政策を支持する発言や、高市首相が日銀の利上げに難色を示したとの報道、原油高によるインフレ懸念などを受け、円安となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、「米国3倍4資産リスク分散マザーファンド」の組入比率が通常の状態でも高位となるように組み入れます。

■米国3倍4資産リスク分散マザーファンド

今後も、主として、米国の株式、リートおよび債券ならびに金を投資対象とし、先物取引等を活用した分散投資により、信託財産の成長をめざして運用を行います。各投資対象の比率については、ポートフォリオ全体に占める各資産のリスク割合が均等となることを目標に毎月見直しを行います。

また、残存期間の短い米国国債にも投資を行います。

ポートフォリオについて

(2025. 9. 12 ~ 2026. 3. 11)

■当ファンド

「米国3倍4資産リスク分散マザーファンド」の組入比率が高位となるように組み入れました。

■米国3倍4資産リスク分散マザーファンド

主として、米国の株式、リートおよび債券ならびに金を投資対象とし、先物取引等を活用した分散投資により、信託財産の成長をめざして運用を行いました。各投資対象の比率については、ポートフォリオ全体に占める各資産のリスク割合が均等となることを目標に毎月見直しを行いました。

また、残存期間の短い米国国債にも投資を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の 1 万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1 万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1 万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1 万口当り）

| 項 目 | 第72期 | 第73期 | 第74期 | 第75期 | 第76期 | 第77期 |
|----------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 2025年9月12日 ～2025年10月14日 | 2025年10月15日 ～2025年11月11日 | 2025年11月12日 ～2025年12月11日 | 2025年12月12日 ～2026年1月13日 | 2026年1月14日 ～2026年2月12日 | 2026年2月13日 ～2026年3月11日 |
| 当期分配金(税込み) (円) | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 |
| 対基準価額比率 (%) | 1.02 | 1.01 | 1.01 | 0.95 | 0.93 | 0.91 |
| 当期の収益 (円) | 150 | 150 | 72 | 150 | 150 | 150 |
| 当期の収益以外 (円) | — | — | 77 | — | — | — |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 5,362 | 5,519 | 5,444 | 6,281 | 6,651 | 7,023 |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1 万口当り）

| 項 目 | 第72期 | 第73期 | 第74期 | 第75期 | 第76期 | 第77期 |
|-----------------------|------------|----------|------------|----------|----------|----------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | ✓ 61.52円 | ✓ 19.68円 | ✓ 15.79円 | ✓ 69.26円 | ✓ 16.25円 | ✓ 16.38円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | ✓ 1,163.58 | ✓ 286.59 | ✓ 57.00 | ✓ 911.14 | ✓ 501.38 | ✓ 505.27 |
| (c) 収益調整金 | 3,364.44 | 3,659.58 | 4,017.12 | 4,260.90 | 4,641.47 | 4,888.05 |
| (d) 分配準備積立金 | 922.73 | 1,703.89 | ✓ 1,504.30 | 1,190.66 | 1,641.89 | 1,764.05 |
| (e) 当期分配対象額 (a+b+c+d) | 5,512.28 | 5,669.75 | 5,594.22 | 6,431.98 | 6,801.00 | 7,173.78 |
| (f) 分配金 | 150.00 | 150.00 | 150.00 | 150.00 | 150.00 | 150.00 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e-f) | 5,362.28 | 5,519.75 | 5,444.22 | 6,281.98 | 6,651.00 | 7,023.78 |

(注) ✓ を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、「米国3倍4資産リスク分散マザーファンド」の組入比率が通常の状態での高位となるように組み入れます。

■米国3倍4資産リスク分散マザーファンド

今後も主として、米国の株式、リートおよび債券ならびに金を投資対象とし、先物取引等を活用した分散投資により、信託財産の成長をめざして運用を行います。各投資対象の比率については、ポートフォリオ全体に占める各資産のリスク割合が均等となることを目標に毎月見直しを行います。

また、残存期間の短い米国国債にも投資を行います。

1万口当りの費用の明細

| 項 目 | 第72期～第77期 (2025. 9. 12～2026. 3. 11) | | 項 目 の 概 要 |
|---------------|--|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| 信 託 報 酬 | 35円 | 0.231% | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は15,150円です。 |
| (投 信 会 社) | (16) | (0.109) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (16) | (0.109) | 販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (2) | (0.013) | 受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売 買 委 託 手 数 料 | 5 | 0.034 | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (先物・オプション) | (5) | (0.030) | |
| (投資信託受益証券) | (1) | (0.004) | |
| 有 価 証 券 取 引 税 | — | — | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| そ の 他 費 用 | 1 | 0.009 | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (1) | (0.004) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (1) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.001) | 信託事務の処理等に関するその他の費用 |
| 合 計 | 41 | 0.273 | |

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

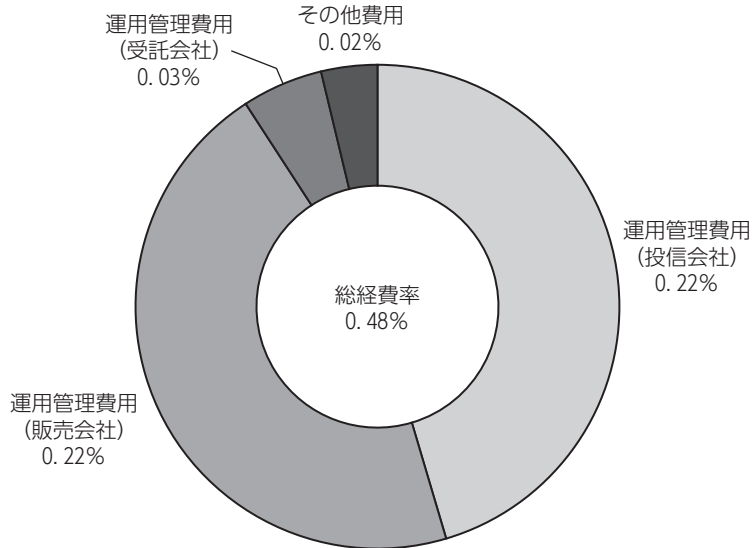
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.48%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

米国3倍4資産リスク分散ファンド（毎月決算型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年9月12日から2026年3月11日まで)

| 決算期 | 第72期～第77期 | | | |
|-----------------------------|-----------|---------|--------|---------|
| | 設定 | | 解約 | |
| | □数 | 金額 | □数 | 金額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| 米国3倍4資産 リスク分散 マザーファンド | 184,788 | 463,687 | 66,314 | 168,127 |

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

| 種類 | 第77期末 | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|
| | □数 | □数 | 評価額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| 米国3倍4資産リスク分散 マザーファンド | 180,172 | 298,645 | 850,392 |

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年10月14日)、(2025年11月11日)、(2025年12月11日)、(2026年1月13日)、(2026年2月12日)、(2026年3月11日)現在

| 項目 | 第72期末 | 第73期末 | 第74期末 | 第75期末 | 第76期末 | 第77期末 |
|------------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| (A) 資産 | 512,187,386円 | 550,270,149円 | 615,902,418円 | 715,381,561円 | 839,240,789円 | 866,844,947円 |
| コール・ローン等 | 7,515,321 | 7,701,109 | 14,754,360 | 8,933,691 | 18,169,672 | 16,452,094 |
| 米国3倍4資産リスク分散 マザーファンド（評価額） | 504,672,065 | 542,569,040 | 601,148,058 | 706,447,870 | 815,395,117 | 850,392,853 |
| 未収入金 | — | — | — | — | 5,676,000 | — |
| (B) 負債 | 6,639,558 | 6,969,500 | 13,586,768 | 8,044,617 | 22,741,484 | 14,805,796 |
| 未払収益分配金 | 5,205,665 | 5,524,805 | 6,142,764 | 6,804,051 | 7,656,744 | 7,783,864 |
| 未払解約金 | 1,240,551 | 1,249,823 | 7,212,648 | 948,177 | 14,767,919 | 6,706,399 |
| 未払信託報酬 | 190,004 | 188,224 | 220,827 | 276,992 | 296,211 | 289,820 |
| その他未払費用 | 3,338 | 6,648 | 10,529 | 15,397 | 20,610 | 25,713 |
| (C) 純資産総額（A－B） | 505,547,828 | 543,300,649 | 602,315,650 | 707,336,944 | 816,499,305 | 852,039,151 |
| 元本 | 347,044,380 | 368,320,360 | 409,517,605 | 453,603,422 | 510,449,624 | 518,924,290 |
| 次期繰越損益金 | 158,503,448 | 174,980,289 | 192,798,045 | 253,733,522 | 306,049,681 | 333,114,861 |
| (D) 受益権総口数 | 347,044,380□ | 368,320,360□ | 409,517,605□ | 453,603,422□ | 510,449,624□ | 518,924,290□ |
| 1万口当り基準価額（C/D） | 14,567円 | 14,751円 | 14,708円 | 15,594円 | 15,996円 | 16,419円 |

* 当作成期首における元本額は293,379,663円、当作成期間（第72期～第77期）中における追加設定元本額は465,426,913円、同解約元本額は239,882,286円です。

* 第77期末の計算口数当りの純資産額は16,419円です。

■投資信託財産の構成

2026年3月11日現在

| 項目 | 第77期末 | |
|-------------------------|---------|-------|
| | 評価額 | 比率 |
| | 千円 | % |
| 米国3倍4資産リスク分散 マザーファンド | 850,392 | 98.1 |
| コール・ローン等、その他 | 16,452 | 1.9 |
| 投資信託財産総額 | 866,844 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝158.23円です。

(注3) 米国3倍4資産リスク分散マザーファンドにおいて、第77期末における外貨建純資産(1,458,030千円)の投資信託財産総額(1,740,795千円)に対する比率は、83.8%です。

■損益の状況

第72期 自 2025年9月12日 至 2025年10月14日 第74期 自 2025年11月12日 至 2025年12月11日 第76期 自 2026年1月14日 至 2026年2月12日
 第73期 自 2025年10月15日 至 2025年11月11日 第75期 自 2025年12月12日 至 2026年1月13日 第77期 自 2026年2月13日 至 2026年3月11日

| 項目 | 第72期 | 第73期 | 第74期 | 第75期 | 第76期 | 第77期 |
|-----------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| (A) 配当等収益 | 1,497円 | 1,698円 | 1,611円 | 2,980円 | 4,585円 | 4,551円 |
| 受取利息 | 1,497 | 1,698 | 1,611 | 2,980 | 4,585 | 4,551 |
| (B) 有価証券売買損益 | 42,708,386 | 11,470,572 | 3,204,469 | 44,750,786 | 26,719,786 | 27,360,847 |
| 売買益 | 43,550,221 | 12,267,687 | 3,755,366 | 45,904,383 | 27,808,072 | 30,015,226 |
| 売買損 | △ 841,835 | △ 797,115 | △ 550,897 | △ 1,153,597 | △ 1,088,286 | △ 2,654,379 |
| (C) 信託報酬等 | △ 193,342 | △ 191,534 | △ 224,708 | △ 281,860 | △ 301,424 | △ 294,923 |
| (D) 当期損益金 (A + B + C) | 42,516,541 | 11,280,736 | 2,981,372 | 44,471,906 | 26,422,947 | 27,070,475 |
| (E) 前期繰越損益金 | 32,022,913 | 62,758,100 | 61,603,906 | 54,009,175 | 83,810,405 | 91,541,270 |
| (F) 追加信託差損益金 | 89,169,659 | 106,466,258 | 134,355,531 | 162,056,492 | 203,473,073 | 222,286,980 |
| (配当等相当額) | (116,761,324) | (134,789,958) | (164,508,266) | (193,276,170) | (236,923,663) | (253,653,128) |
| (売買損益相当額) | (△ 27,591,665) | (△ 28,323,700) | (△ 30,152,735) | (△ 31,219,678) | (△ 33,450,590) | (△ 31,366,148) |
| (G) 合計 (D + E + F) | 163,709,113 | 180,505,094 | 198,940,809 | 260,537,573 | 313,706,425 | 340,898,725 |
| (H) 収益分配金 | △ 5,205,665 | △ 5,524,805 | △ 6,142,764 | △ 6,804,051 | △ 7,656,744 | △ 7,783,864 |
| 次期繰越損益金 (G + H) | 158,503,448 | 174,980,289 | 192,798,045 | 253,733,522 | 306,049,681 | 333,114,861 |
| 追加信託差損益金 | 89,169,659 | 106,466,258 | 134,355,531 | 162,056,492 | 203,473,073 | 222,286,980 |
| (配当等相当額) | (116,761,324) | (134,789,958) | (164,508,266) | (193,276,170) | (236,923,663) | (253,653,128) |
| (売買損益相当額) | (△ 27,591,665) | (△ 28,323,700) | (△ 30,152,735) | (△ 31,219,678) | (△ 33,450,590) | (△ 31,366,148) |
| 分配準備積立金 | 69,333,789 | 68,514,031 | 58,442,514 | 91,677,030 | 102,576,608 | 110,827,881 |

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいひ、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

| 項目 | 第72期 | 第73期 | 第74期 | 第75期 | 第76期 | 第77期 |
|-----------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 2,135,098円 | 724,908円 | 646,805円 | 3,141,925円 | 829,690円 | 850,325円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 40,381,443 | 10,555,828 | 2,334,567 | 41,329,981 | 25,593,257 | 26,220,150 |
| (c) 収益調整金 | 116,761,324 | 134,789,958 | 164,508,266 | 193,276,170 | 236,923,663 | 253,653,128 |
| (d) 分配準備積立金 | 32,022,913 | 62,758,100 | 61,603,906 | 54,009,175 | 83,810,405 | 91,541,270 |
| (e) 当期分配対象額 (a + b + c + d) | 191,300,778 | 208,828,794 | 229,093,544 | 291,757,251 | 347,157,015 | 372,264,873 |
| (f) 分配金 | 5,205,665 | 5,524,805 | 6,142,764 | 6,804,051 | 7,656,744 | 7,783,864 |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e - f) | 186,095,113 | 203,303,989 | 222,950,780 | 284,953,200 | 339,500,271 | 364,481,009 |
| (h) 受益権総口数 | 347,044,380口 | 368,320,360口 | 409,517,605口 | 453,603,422口 | 510,449,624口 | 518,924,290口 |

米国3倍4資産リスク分散ファンド（毎月決算型）

| 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ | | | | | | |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|
| 1万口当り分配金（税込み） | 第72期 | 第73期 | 第74期 | 第75期 | 第76期 | 第77期 |
| | 150円 | 150円 | 150円 | 150円 | 150円 | 150円 |

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

米国3倍4資産リスク分散マザーファンド

運用報告書 第13期 (決算日 2026年3月11日)

(作成対象期間 2025年9月12日～2026年3月11日)

米国3倍4資産リスク分散マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 信託財産の成長をめざして運用を行いません。 |
| 主要投資対象 | 次の有価証券および先物取引 イ. 米国株式を対象とした株価指数先物取引 ロ. 米国国債を対象とした先物取引 ハ. 米国の不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券（以下「リート」といいます。）の指数を対象指数としたETF（上場投資信託証券） ニ. 米国リートを対象としたリート指数先物取引 ホ. 金を対象とした先物取引 ヘ. 米国国債 |
| 株式組入制限 | 無制限 |

大和アセットマネジメント

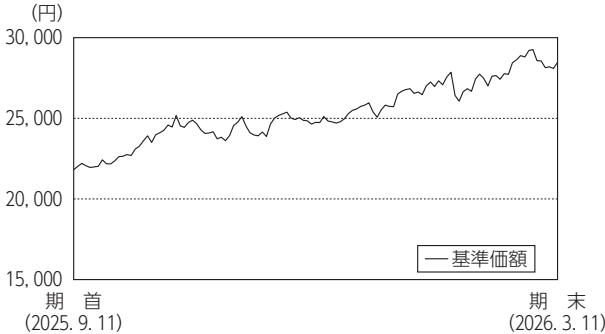
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

米国3倍4資産リスク分散マザーファンド

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



| 年月日 | 基準価額 | | 株式先物比率 | 公社債組入比率 | 債券先物比率 | 投資信託受益証券組入比率 | 商品先物比率 |
|-----------------|--------|------|--------|---------|--------|--------------|--------|
| | 円 | 騰落率 | | | | | |
| (期首) 2025年9月11日 | 21,811 | — | 48.4 | 10.3 | 134.3 | 43.3 | 56.1 |
| 9月末 | 22,624 | 3.7 | 48.9 | 9.5 | 132.2 | 41.4 | 59.0 |
| 10月末 | 24,089 | 10.4 | 53.8 | 11.0 | 149.9 | 46.3 | 55.3 |
| 11月末 | 25,283 | 15.9 | 52.3 | 10.7 | 143.8 | 46.4 | 52.6 |
| 12月末 | 25,390 | 16.4 | 50.3 | 9.8 | 143.2 | 46.3 | 49.8 |
| 2026年1月末 | 27,856 | 27.7 | 54.6 | 8.3 | 150.3 | 46.0 | 49.3 |
| 2月末 | 28,807 | 32.1 | 53.1 | 8.0 | 150.8 | 46.2 | 44.5 |
| (期末) 2026年3月11日 | 28,475 | 30.6 | 54.9 | 8.1 | 151.5 | 45.9 | 45.6 |

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 先物比率は買建比率－売建比率です。
 (注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：21,811円 期末：28,475円 騰落率：30.6%

【基準価額の主な変動要因】

主に金価格の上昇を受けて、当作成期の基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、2025年9月中旬のFRB(米国連邦準備制度理事会)による利下げ決定などを背景に、上昇しました。さらに10月下旬にかけては、成長期待が高まったAI(人工知能)・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、株価は史上最高値を更新しました。11月には、政府機関の一部閉鎖の影響が嫌気されて下落しましたが、同月下旬には利下げ観測が再び高まったことを好感し、反発しました。12月以降も、FRBによる利下げの決定や流動性供給の開始、半導体関連企業の好業績などが好感され、株価は上昇しました。2026年1月以降は、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「AI脅威論」の台頭を受け、情報サービスやソフトウェア関連の企業が急落しました。その後2月下旬にかけては、株価は史上最高値近辺でおおむね横ばいで推移しました。当作成期末にかけては、中東情勢の緊迫化による投資家心理の悪化を受け、上げ幅を縮小しました。

○米国債券市況

米国金利は上昇(債券価格は下落)しました。

米国債券市場では、当作成期首より金利は上昇したものの、雇用統計の結果などを受けて労働市場の悪化懸念が強まり、利下げ期待が高まったことなどから、2025年10月中旬にかけて金利は低下(債券価格は上昇)しました。しかしその後は、FRB(米国連邦準備制度理事会)議長が次回利下げについて慎重な姿勢を明確に示したことなどから、11月中旬にかけて金利は上昇しました。11月下旬には、FRB高官の発言などを受けて年内の利下げ観測が高まり、金利は再び低下に転じました。12月には、FRBが利下げを決定し、さらに2026年の追加利下げを示唆したことなどから、短期年限の金利は低下した一方で、米国経済の底堅さを示す指標などを受け、中期から超長期年限の金利は上昇しました。2026年1月は、グリーンランドの領有問題をめぐる欧米の対立や、FRBの独立性への懸念などから米ドル離れの懸念が再燃したことに加え、米国で底堅い経済指標が示され、当面の利下げ観測が後退したことなどから、金利は上昇しました。2月末にかけては、消費者物価指数が市場予想を下回ったことなどから年央以降の利下げ観測が高まったことや、「AI(人工知能)脅威論」により将来的な景気不安が意識されたことなどから、金利は低下しました。当作成期末にかけては、原油高によるインフレ懸念から金利は上昇しました。

○米国リート市況

米国リート市況は上昇しました。

米国リート市況は、当作成期首より2025年12月末にかけて、米国長期金利の動向などに左右される中、おおむね横ばい圏で推移しました。その後、2026年2月にかけては、リートが資本集約的な事業構造を有し、相対的にAI(人工知能)による代替リスクが低いことなどが評価され、堅調に推移しました。当作成期末にかけては、中東情勢の緊迫化による投資家心理の悪化を受け、上げ幅を縮小しました。

○金市況

金価格は大幅に上昇しました。

金市況は、主に米国の利下げ期待が相場を押し上げ、地政学リスクの高まりなどから安全資産としての需要も膨らみ、上昇しました。2025年9月から12月にかけては、米国の利下げ観測が継続し、FRB(米国連邦準備制度理事会)による2度の利下げ決定後も、低調な米国経済指標を手掛かりとする追加利下げ期待が上昇圧力となりました。2026年1月に入ると、ベネズエラやイランに対する米国の軍事的圧力への警戒感や、グリーンランドをめぐる米欧対立などで地政学リスクが終極意識され、金の逃避買いに拍車がかかりました。しかし、1月下旬にトランプ米大統領が、次期FRB議長

にタカ派と目されるウォーシュ元FRB理事を指名したことが引き金となり、史上最高値の5,350米ドル（トロイオンス当たり）近辺から2営業日で4,600米ドル台半ばまで急落しました。その後は、米ドルの反落や米国の関税措置をめぐる不透明感などを背景に、再び上昇基調となりました。2月末に米国・イスラエルがイランを攻撃した当初は安全資産として買われ上昇しましたが、当作成期末にかけては、米ドル高の進行やインフレ懸念の高まりから次第に上値が重い展開となりました。

○為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。米ドル対円為替相場は、当作成期首より、おおむねレンジ内での推移が続きましたが、2025年10月から11月半ばにかけては、自民党総選挙の結果を受けた積極財政や緩やかな金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が高まり、円安が進行しました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への懸念などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受け、円高が進行しました。当作成期末にかけては、米国財務長官による強い米ドル政策を支持する発言や、高市首相が日銀の利上げに難色を示したとの報道、原油高によるインフレ懸念などを受け、円安となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

今後も、主として、米国の株式、リートおよび債券ならびに金を投資対象とし、先物取引等を活用した分散投資により、信託財産の成長

をめざして運用を行います。各投資対象の比率については、ポートフォリオ全体に占める各資産のリスク割合が均等となることを目標に毎月見直しを行います。

また、残存期間の短い米国国債にも投資を行います。

◆ポートフォリオについて

主として、米国の株式、リートおよび債券ならびに金を投資対象とし、先物取引等を活用した分散投資により、信託財産の成長をめざして運用を行いました。各投資対象の比率については、ポートフォリオ全体に占める各資産のリスク割合が均等となることを目標に毎月見直しを行いました。

また、残存期間の短い米国国債にも投資を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

今後も主として、米国の株式、リートおよび債券ならびに金を投資対象とし、先物取引等を活用した分散投資により、信託財産の成長をめざして運用を行います。各投資対象の比率については、ポートフォリオ全体に占める各資産のリスク割合が均等となることを目標に毎月見直しを行います。

また、残存期間の短い米国国債にも投資を行います。

■1万口当りの費用の明細

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------------------------|--------------------|
| 売買委託手数料 (先物・オプション) (投資信託受益証券) | 9円 (8) (1) |
| 有価証券取引税 | — |
| その他費用 (保管費用) (その他) | 1 (1) (0) |
| 合 計 | 10 |

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(2) 投資信託受益証券

| 銘 柄 | 買 付 | | 売 付 | |
|---|------|----------|-----|----------|
| | □ 数 | 金 額 | □ 数 | 金 額 |
| 外 国 アメリカ VANGUARD REAL ESTATE INDEX FUND;ET | 千口 | 千アメリカ・ドル | 千口 | 千アメリカ・ドル |
| | 27.1 | 2,461 | 5.1 | 467 |

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2025年9月12日から2026年3月11日まで)

| | | 買 付 額 | 売 付 額 |
|-----|------|-----------------|-------------------------|
| 外 国 | アメリカ | 千アメリカ・ドル 337 | 千アメリカ・ドル — (150) |

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

米国3倍4資産リスク分散マザーファンド

■先物・オプション取引状況等

先物取引の銘柄別取引状況・残高状況

(2025年9月12日から2026年3月11日まで)

| 銘柄別 | | 買 建 | | 売 建 | | 当 作 成 期 末 評 価 額 | | |
|-------|---------------------------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|------|
| | | 新規買付額 | 決 済 額 | 新規売付額 | 決 済 額 | 買 建 額 | 売 建 額 | 評価損益 |
| | | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 外 株 式 | SP500 MIC EMIN FUT (アメリカ) | 799 | 588 | — | — | 461 | — | △7 |
| | NASD100 MICRO EMIN (アメリカ) | 815 | 607 | — | — | 466 | — | △8 |
| 国 債 | US LONG BOND (CBT) (アメリカ) | 1,842 | 1,471 | — | — | 844 | — | △10 |
| | US 10YR NOTE (CBT) (アメリカ) | 1,848 | 1,450 | — | — | 854 | — | △5 |
| | US 5YR NOTE (CBT) (アメリカ) | 1,877 | 1,472 | — | — | 863 | — | △4 |
| | E-MICRO GOLD (アメリカ) | 1,578 | 1,621 | — | — | 771 | — | 18 |

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2025年9月12日から2026年3月11日まで)

| 当 期 | | 期 末 | |
|--------------------------------------|--------|-----|-----|
| 買 付 | 金 額 | 売 付 | 金 額 |
| 銘 柄 | 千円 | 銘 柄 | 千円 |
| U. S. TREASURY BILL (アメリカ) 2026/10/1 | 52,066 | | |

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

| 作 成 期 | 当 期 | | | | 末 | | | |
|-------|----------|-----------|-------------|------|-------------|-----------|---------|---------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | | 組入比率 | うちBB格以下組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | | | 5 年 以 上 | 2 年 以 上 | 2 年 未 満 |
| 区 分 | 千アメリカ・ドル | 千アメリカ・ドル | 千円 | % | % | % | % | % |
| アメリカ | 880 | 864 | 136,836 | 8.1 | — | — | — | 8.1 |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

| 区 分 | 銘 柄 | 種 類 | 年 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | | 償 還 年 月 日 |
|------|---------------------|------|-------|---------|-----------|-------------|------------|
| | | | | | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | |
| | | | | | 千アメリカ・ドル | 千円 | |
| アメリカ | U. S. TREASURY BILL | 国債証券 | — | 200 | 197 | 31,231 | 2026/07/09 |
| | U. S. TREASURY BILL | 国債証券 | — | 330 | 324 | 51,317 | 2026/09/03 |
| | U. S. TREASURY BILL | 国債証券 | — | 350 | 343 | 54,287 | 2026/10/01 |
| 合 計 | 銘柄数 金 額 | 3銘柄 | | 880 | 864 | 136,836 | |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(3) 外国投資信託受益証券

| 銘 柄 | 期 首 | 当 期 末 | | | |
|--|---------|-------|-----------|-------------|---------|
| | □ 数 | □ 数 | 評 価 額 | | |
| | | | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | |
| (アメリカ) VANGUARD REAL ESTATE INDEX FUND;ET | 千口 | 千口 | 千アメリカ・ドル | 千円 | |
| | 30.4 | 52.4 | 4,905 | 776,227 | |
| 合 計 | □ 数、金額 | 30.4 | 52.4 | 4,905 | 776,227 |
| | 銘柄数<比率> | 1銘柄 | 1銘柄 | <45.9%> | |

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年3月11日現在

| 項 目 | 当 期 末 |
|-------------------|----------------|
| (A) 資産 | 1,722,131,436円 |
| コール・ローン等 | 293,306,826 |
| 公社債 (評価額) | 136,836,168 |
| 投資信託受益証券 (評価額) | 776,227,012 |
| 差入委託証拠金 | 515,761,430 |
| (B) 負債 | 29,943,672 |
| 未払金 | 17,543,672 |
| 未払解約金 | 12,400,000 |
| (C) 純資産総額 (A - B) | 1,692,187,764 |
| 元本 | 594,273,111 |
| 次期繰越損益金 | 1,097,914,653 |
| (D) 受益権総口数 | 594,273,111口 |
| 1万口当り基準価額 (C / D) | 28,475円 |

* 期首における元本額は435,207,889円、当作成期間中における追加設定元本額は324,202,280円、同解約元本額は165,137,058円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

米国 3 倍 4 資産リスク分散ファンド (隔月決算型) 105,827,057円

米国 3 倍 4 資産リスク分散ファンド (年 2 回決算型) 189,800,627円

米国 3 倍 4 資産リスク分散ファンド (毎月決算型) 298,645,427円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は28,475円です。

■投資信託財産の構成

2026年3月11日現在

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|---------------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公社債 | 136,836 千円 | 7.9 % |
| 投資信託受益証券 | 776,227 | 44.6 |
| コール・ローン等、その他 | 827,731 | 47.5 |
| 投資信託財産総額 | 1,740,795 | 100.0 |

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月11日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝158.23円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (1,458,030千円) の投資信託財産総額 (1,740,795千円) に対する比率は、83.8%です。

米国3倍4資産リスク分散マザーファンド

■損益の状況

当期 自 2025年9月12日 至 2026年3月11日

| 項 目 | 当 期 |
|----------------------------------|----------------------|
| (A) 配当等収益 | 18,223,822円 |
| 受取配当金 | 8,746,342 |
| 受取利息 | 3,439,854 |
| その他収益金 | 6,037,626 |
| (B) 有価証券売買損益 | 87,846,105 |
| 売買益 | 88,895,645 |
| 売買損 | △ 1,049,540 |
| (C) 先物取引等損益 | 234,297,223 |
| 取引益 | 275,780,896 |
| 取引損 | △ 41,483,673 |
| (D) その他費用 | △ 60,891 |
| (E) 当期損益金 (A + B + C + D) | 340,306,259 |
| (F) 前期繰越損益金 | 514,020,616 |
| (G) 解約差損益金 | △ 245,910,942 |
| (H) 追加信託差損益金 | 489,498,720 |
| (I) 合計 (E + F + G + H) | 1,097,914,653 |
| 次期繰越損益金 (I) | 1,097,914,653 |

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。